

①福岡市のユニバーサルデザインの取り組み



福岡市では、10年前の2011年から

「みんながやさしい、みんなにやさしい ユニバーサル都市・福岡」

というプロジェクトをスタート。



- ・ユニバーサル都市福岡推進協議会を毎年開催
- ・おさるのベンチプロジェクト
- ・認知症の人にもやさしいデザインの手引き
- ・みんなにやさしい福岡市地下鉄

などなど…



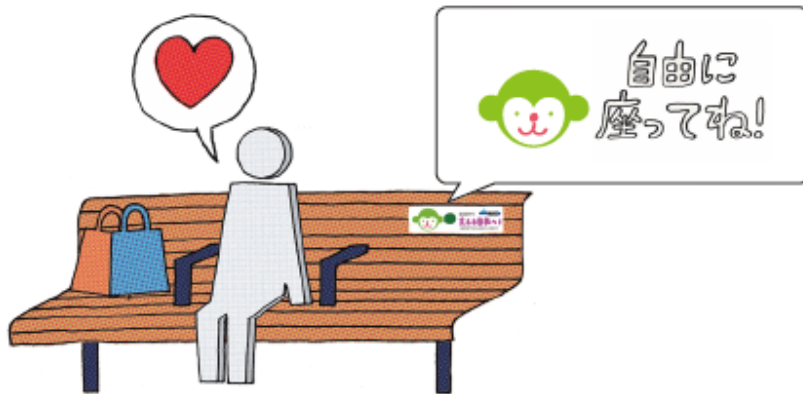
ユニバーサル都市・福岡
UNIVERSAL FUKUOKA CITY



おさるの

ベンチプロジェクト

誰もが気軽に外出しやすいまち「ユニバーサル都市・福岡」の推進や
超高齢社会に対応した「支える“まち”づくり」のため、皆さまのご協力をお願いします。



ご活用・ご協力
ください!!

ベンチ設置促進に向けた3つのメニュー

補助

購入費補助

Web

ホームページ掲載

寄付

寄付受付



青葉緑地(みどりが丘1丁目バス停)



那珂川河川緑地(塩原橋バス停)

認知症の人にも やさしい デザインの 手引き

より過ごしやすい環境を
整える**30**のポイント



5つの視点

「記憶に頼らず行動できる空間づくり」「安心して自分で選べる居場所づくり」を
実践するため5つの視点を設け、具体的なデザインの30のポイントをまとめました。

A 色(明度)の組み合わせ



B サインと目印の活用



C 明るさの調節



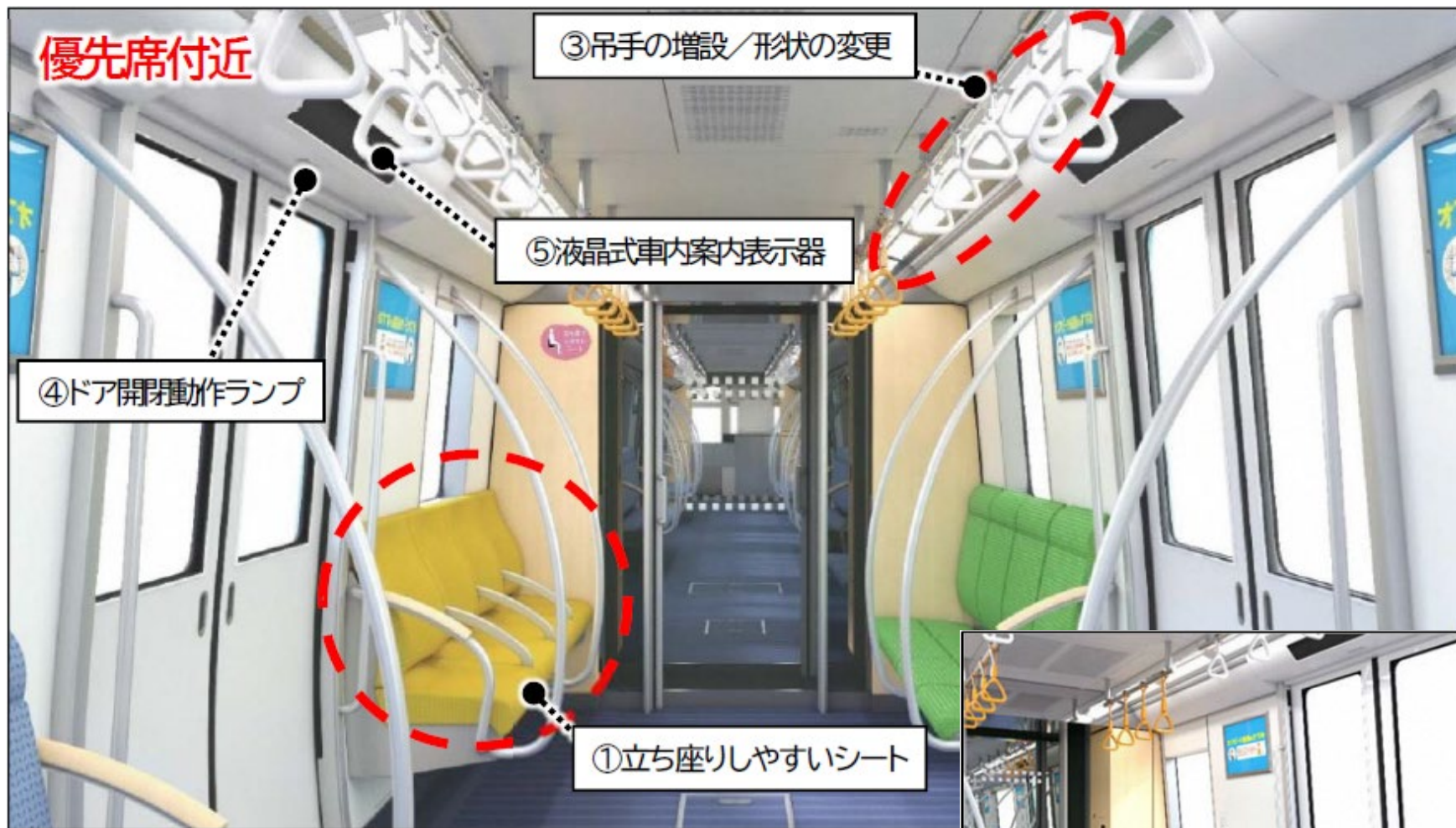
D 親しみや安心感への配慮



E 安全な屋外空間



みんなにやさしい福岡市地下鉄





公園整備でのユニバーサルデザイン

出入口のバリアフリー化と見通しの改善



スロープと手すり・バリアフリースイートの整備



健康器具系施設（大人も使える施設として要望が多い）



車いすでお世話できる花壇



公園でも福岡市福祉のまちづくり条例や、国土交通省が定めている都市公園の移動円滑化指針に基づき、誰もが利用しやすい園路、トイレなどの整備を進めてきた。しかし、遊びの支援という視点では、ユニバーサルデザインの取り組みがなされていなかった。



ブランコは人気の遊具だが、体を支える力が弱い子は使えない・・・



衛生上、ネコのフン対策から柵がつけられているが車いすや歩行補助具を使っている子は入りにくい・・・

②インクルーシブな遊び場づくりについて



バリアフリー ⇒ ユニバーサルデザイン と発展し、さらに「インクルーシブ」という概念が注目されるようになった。

バリアフリー : 障がいのある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去するという意味。より広く、「障がい者の社会参加を困難にしているバリアの除去」という意味でも用いられる。【出典：障害者基本計画（H14.12.24 閣議決定）】

ユニバーサルデザイン : ユニバーサルデザインはあらかじめ、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。【出典：障害者基本計画（H14.12.24 閣議決定）】

ユニバーサルデザインの7原則とは、

1) **公平性** 2) **自由度** 3) **単純性** 4) **分かりやすさ** 5) **安全性** 6) **体への負担の少なさ** 7) **スペースの確保**

⇒ 福祉のまちづくり条例 施設整備マニュアルに反映され、
取り組みが進んでいる。

②インクルーシブな遊び場づくりについて



インクルーシブ【（一財）アジア・太平洋人権情報センターヒューライツ大阪HPより】
インクルーシブとは、日本語にすると「包み込むような／包摂的な」という意味で、「ソーシャル・インクルージョン」（社会的包摂）という言葉から来ており、「あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護し、社会の構成員として包み、支え合う」という社会政策の理念。

インクルーシブってどういう意味？【インクルーシブ福岡HPより】

「仲間はずれにしない」、「みんないっしょに」という意味です。

英語で「エクスクルージョン (exclusion) 」 = 「排除」の反対語が「インクルージョン (inclusion) 」。つまり、「排除しない」ってことだよ。

②インクルーシブな遊び場づくりについて



インクルーシブデザイン【出典：「インクルーシブデザイン」】

これまで除外されてきた（エクスクルード）ユーザーを抱合（インクルード）し、かつビジネスとして成り立つ考え方。ユニバーサルデザインが、アクセシビリティやユーザビリティからアプローチしているのに対し、インクルーシブデザインは、障がい者や高齢者だけでなく、民族、言語、経済状況など、デザインの要素から除外されてきた広範囲の問題解決をテーマにしており、多様なユーザーの側からアプローチしていることが特徴。

福岡市では、「インクルーシブな遊び場」を、

障がいの有無などに関わらず、あらゆる子ども達が、お互いに理解、支え合いながら、安心して、一緒に遊ぶことができる遊び場

ととらえています。

②インクルーシブな遊び場づくりについて



安全性について気を付けるポイントは？

障がいのある子や保護者にとっての心配事や不安は？

どんな遊具が喜ばれるのかな？

誰もが利用できる

健常な子や保護者にとっての心配事や不安は？

遊びが豊か

人と地域とゆるやかな

一緒に遊ぶための工夫はあるかな？

つながりがある

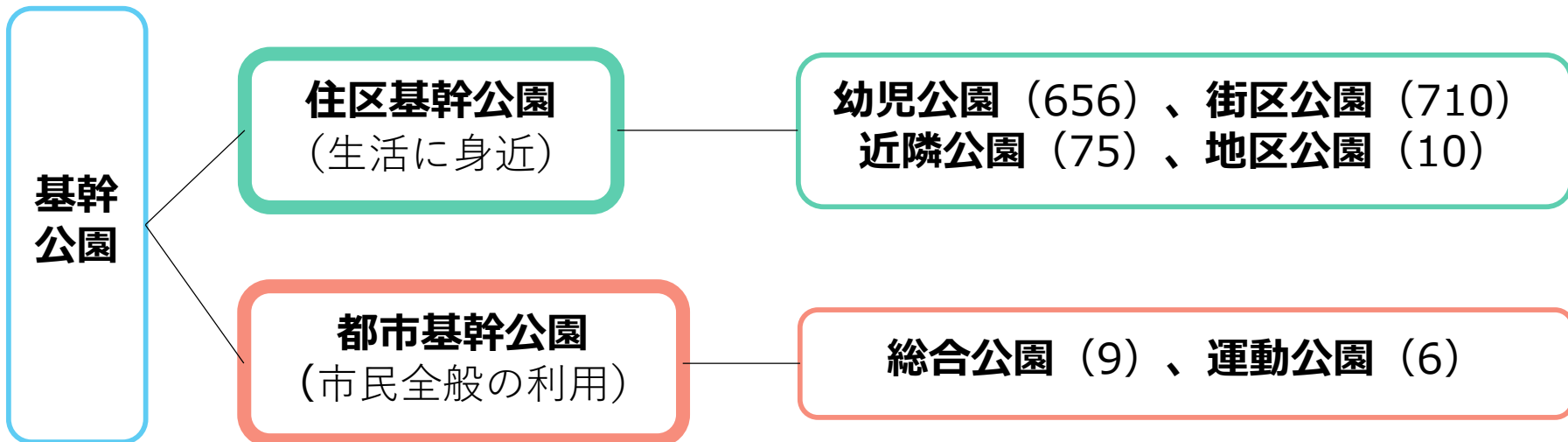
人や地域とのつながりをどうやって作っていくか？

「みんなの公園プロジェクト」のインクルーシブ公園の3つの軸の考え

③福岡市の公園の概要



福岡市内の公園 **1695か所**



特殊公園：風致公園 (13)、動植物公園 (1)、歴史公園 (3)、霊園 (3)
大規模公園 (広域公園)：国営海の中道海浜公園 (1)
都市緑地・緑道 (208)

③福岡市の公園の概要



住区基幹公園 (市民の生活に身近な小～中規模の公園)

所管 : 市内7区の区役所

管理方法 : 委託業者による作業、
公園愛護会によるボランティア活動も盛ん
管理人の常駐なし
問い合わせには区役所職員が対応

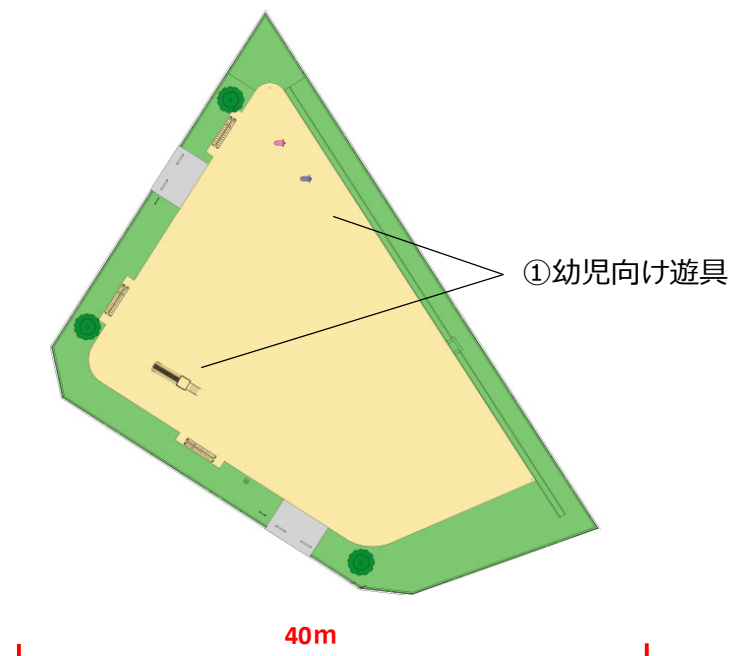


③福岡市の公園の概要



住区基幹公園 幼児公園

宅地開発などに伴い設置される小さな公園
施設：遊具 1～2基、ベンチなど



○土井2号公園

- ・所在地：東区土井二丁目
- ・面積：約 0.05 ha (517m²)
- ・開園年度：平成27年度
- ・主な施設：① 幼児向け遊具

③福岡市の公園の概要



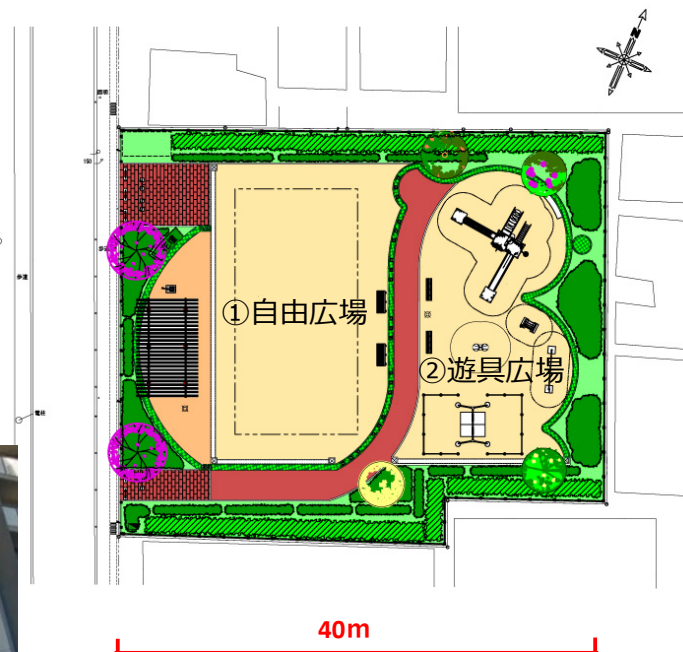
住区基幹公園 街区公園

1,000㎡程度の公園

1小学校区に4か所を標準に整備

グラウンドと遊具3～4基

(砂場、ブランコ、滑り台など)



○薬院北公園

- ・所在地：中央区薬院二丁目
- ・面積：約 0.13 ha (1,299㎡)
- ・開園年度：平成26年度
- ・主な施設
 - ①自由広場
 - ②遊具広場

③福岡市の公園の概要



住区基幹公園 近隣公園

1 ha程度の公園
小学校区に1か所を標準に整備

グラウンド (大)

遊具 6～7基

(複合遊具、砂場、
ブランコ、滑り台、
鉄棒、健康遊具など)

トイレあり

駐車場なし

○姪浜中央公園

- ・所在地：西区姪浜駅南二丁目
- ・面積：約 1.2 ha
- ・開園年度：平成11年度
- ・主な施設
 - ①自由広場 (約4,000m²)
 - ②芝生広場 (約2,500m²)
 - ③遊具広場 (約400m²)



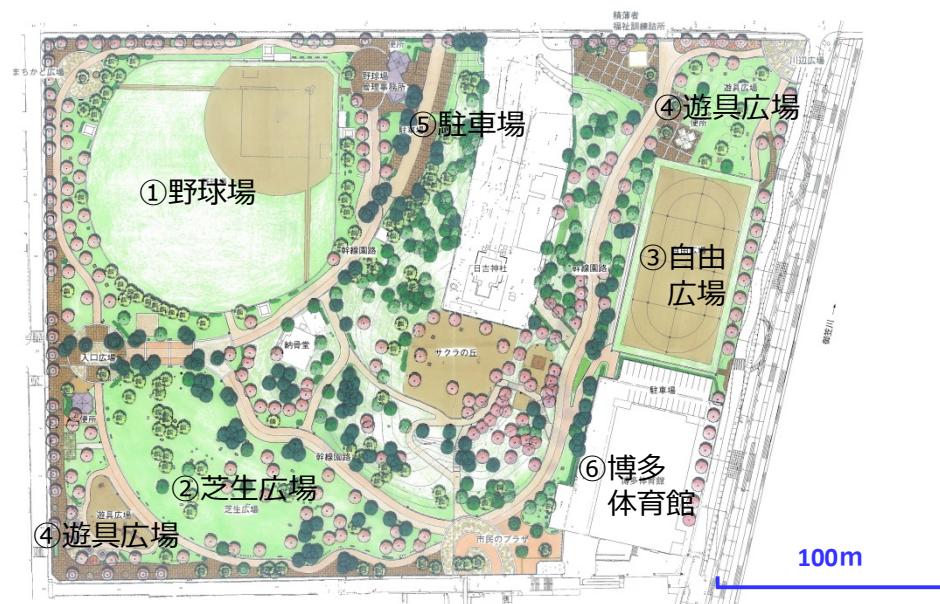
40m

③福岡市の公園の概要



住区基幹公園 地区公園

4 ha程度の公園
グラウンド、遊具、トイレ
有料運動施設と付帯駐車場あり
施設利用時のみ管理人が来場



○山王公園

- ・所在地：博多区山王一丁目
- ・面積：約 6.0 ha
- ・開園年度：昭和24年度
- ・主な施設
 - ①軟式野球場（夜間照明付）
 - ②芝生広場
 - ③自由広場（約3,000㎡）
 - ④遊具広場（2箇所：約3,000㎡）
 - ⑤駐車場（28台）
 - ⑥博多体育館（市民局所管）



③福岡市の公園の概要



都市基幹公園 （市民全般の利用を目的とした大きな公園） 総合公園 6カ所、運動公園 3カ所

所管：住宅都市局

管理方法：指定管理者、管理事務所あり、スタッフ常駐

施設：

大芝生広場、運動施設、大型遊具、バリアフリースイレ
駐車場などが充実



③福岡市の公園の概要



都市基幹公園位置図

(福岡市所管の総合公園、運動公園は9か所)



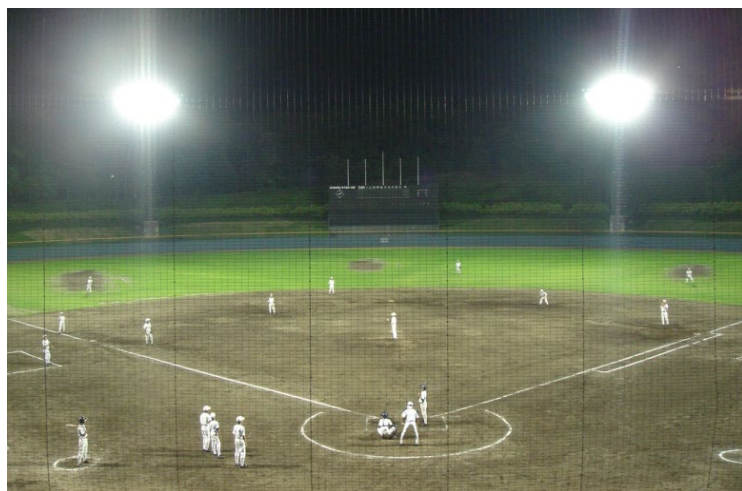
③福岡市の公園の概要



都市基幹公園 運動公園

○ 桜原運動公園

- ・ 所在地：南区桜原5丁目
- ・ 面積：約 13.3 ha
- ・ 開園年度：平成5年度
- ・ 主な施設
 - ① 硬式野球場1面
 - ② テニスコート7面
 - ③ 多目的広場
(2箇所：1ha, 0.3ha)
 - ④ 自由広場 (約0.3ha)
 - ⑤ 遊具広場
 - ⑥ その他 (駐車場など)



③福岡市の公園の概要



都市基幹公園 総合公園

○東平尾公園

- ・所在地：博多区東平尾公園一・二丁目
- ・公園面積：約88.1ha
- ・整備年度：昭和50年度～平成9年度
- ・主な施設
 - ①博多の森陸上競技場
陸上競技場（日本陸連公認第1種陸上競技場）
補助競技場（同 第3種陸上競技場）
 - ②レベルファイブスタジアム(球技場)
 - ③博多の森テニス競技場
（コート20面 内センターコート1面）
 - ④博多の森弓道場
 - ⑤軟式野球場（2面）
 - ⑥その他（遊具広場，駐車場等）



PHOTO : Fumio Hashimoto



このような公園の状況を踏まえ、インクルーシブな遊び場整備の候補地としては、管理者が常駐しており、駐車場やバリアフリートイレなどの施設の充実している総合公園、又は運動公園の中から選ぶことを想定。

本日は、以下のことを中心に、幅広くご意見をいただきたい。

・整備指針に定めるべき項目

- ①**整備目標**（どこに、どれだけ整備するか、どのように進めるか）
- ②**整備内容**（どのような遊具や施設を整備すべきか）
- ③**周辺施設**（遊具以外に周辺にどのような施設が必要か）
- ④**運営方法**（どのように維持管理・運営をしていくか）